

赤ブドウ葉乾燥エキス

085.266 & 085.945

Vitis vinif. fol. extr. s. sicc.

特徴

☆ 赤ブドウ葉 : 乾燥エキス = 約 5 : 1

☆ 3成分の標準化(ポリフェノール/アントシアニン/トランス-リスベラトロール)

	赤ワイン	赤ブドウ葉乾燥エキス(085.266)	赤ブドウ葉乾燥エキス(085.945)
ポリフェノール (Oligomeric Polyphenols)	0.2~0.3%	30~60%	> 30%
トランスリスベラトロール (Trans-Resveratrol)	平均 約 1ppm	50~300ppm (乾燥エキス 0.3~2g は赤ワイン 100ml に相当)	> 50ppm (乾燥エキス 2g は赤ワイン 100ml 以上に相当)
アントシアニン (Anthocyanin)	+	0.4~1.6%	> 0.3%

☆ マルチコンポーネントシステムの実現 : 多成分系の広いスペクトル(裏面 II 参照)

☆ 乾燥減量 : 7.5%以下

☆ 水分含量 : 5%以下(K. Fischer)



《公定書に基づく定義》

フランス薬局方

ブドウ科ブドウ属の赤ワイン醸造用のブドウ (*Vitis vinifera* L.) の葉。

①乾燥は総ポリフェノール 4.0%、アントシアニン 0.2%を含む。

②葉(紅葉した葉)の抽出物は、総ポリフェノール 10~15%を含む。

ESCOP モノグラフ第 2 版 追補 2009

赤ワイン醸造用ブドウとして知られる *Vitis vinifera* L.栽培品種の乾燥葉。

黒い果皮と赤い果肉が特徴。総ポリフェノール 4.0%以上及びアントシアニン 0.2%を含有。成分については、フランス薬局方に準拠。

EMA(欧州医薬品審査庁)

足のむくみ、静脈瘤、ふくらはぎの重み、痛み、疲れ、かゆみ、張りやけいれんに代表される慢性的な静脈不全の治療に対するハーブ医薬品。

赤ブドウ (*Vitis vinifera* L.) の葉 の歴史と利用

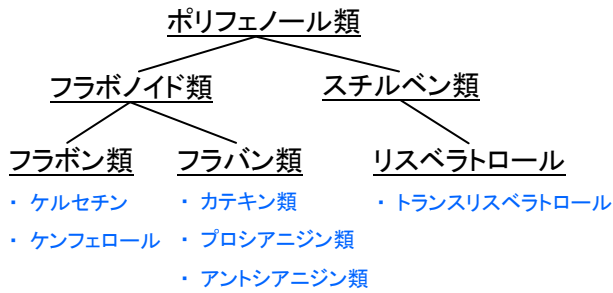
赤ブドウ (*Vitis vinifera* L.) の栽培とそのブドウ製品の利用は紀元前約 3000 年という遙か昔から既に始まっていたと言われており、赤ブドウが人々の生活に密接に関わってきた歴史が伺えます。

ブドウ栽培の目的は主として果実の収穫にあり、生食用のブドウからワインまで、様々な形で食されますが、果実以外の部位も利用されてきました(下表)。その中でも赤ブドウの葉は、今日尚、医薬品公定書に記載され、足のむくみ・だるさ、静脈瘤の医薬品として使用されます。

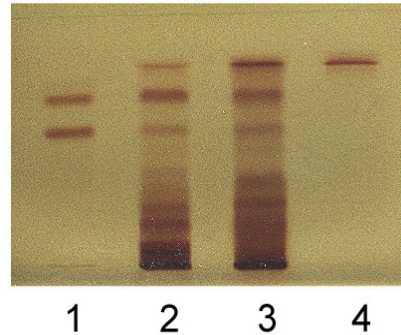
「静脈はワイナリーの娘のように」という諺がヨーロッパにはありますが、古来から、**ワイン造りのためにブドウを踏む娘達の足の美しさ**は「赤ブドウ葉のお茶や料理」に因るものと説明されたそうです。最近、特定の赤ワイン中に検出される多様なポリフェノールが赤ブドウ葉中に高濃度で含まれることが知られ、又、ベルリンの大学病院にて実施された大規模な臨床試験が古来から伝わる赤ブドウ葉の有効性を裏付けたことで、再び人々の注目を集めています。赤ブドウ葉とは何か、多様なポリフェノール成分と赤ブドウ葉の利用をご紹介します。

使用部位	民間療法 から 公定書の適用	地域	今日の公定書収載状況
果実	緩下、利尿、肥満、肝臓・腎臓疾患	アメリカ・イギリス	-
新芽の搾汁液	皮膚疾患、眼の炎症	ヨーロッパ	-
根	利尿、制吐	中国	-
種子油	緩下、胃酸の中和、胆汁分泌促進	ヨーロッパ	-
葉	下痢、出血、痔疾、静脈瘤	ヨーロッパ	ESCOP モノグラフ第 2 版 追補 2009 EMA、仏薬局方、仏植物治療薬指針

I. 赤ブドウ葉の主な活性成分



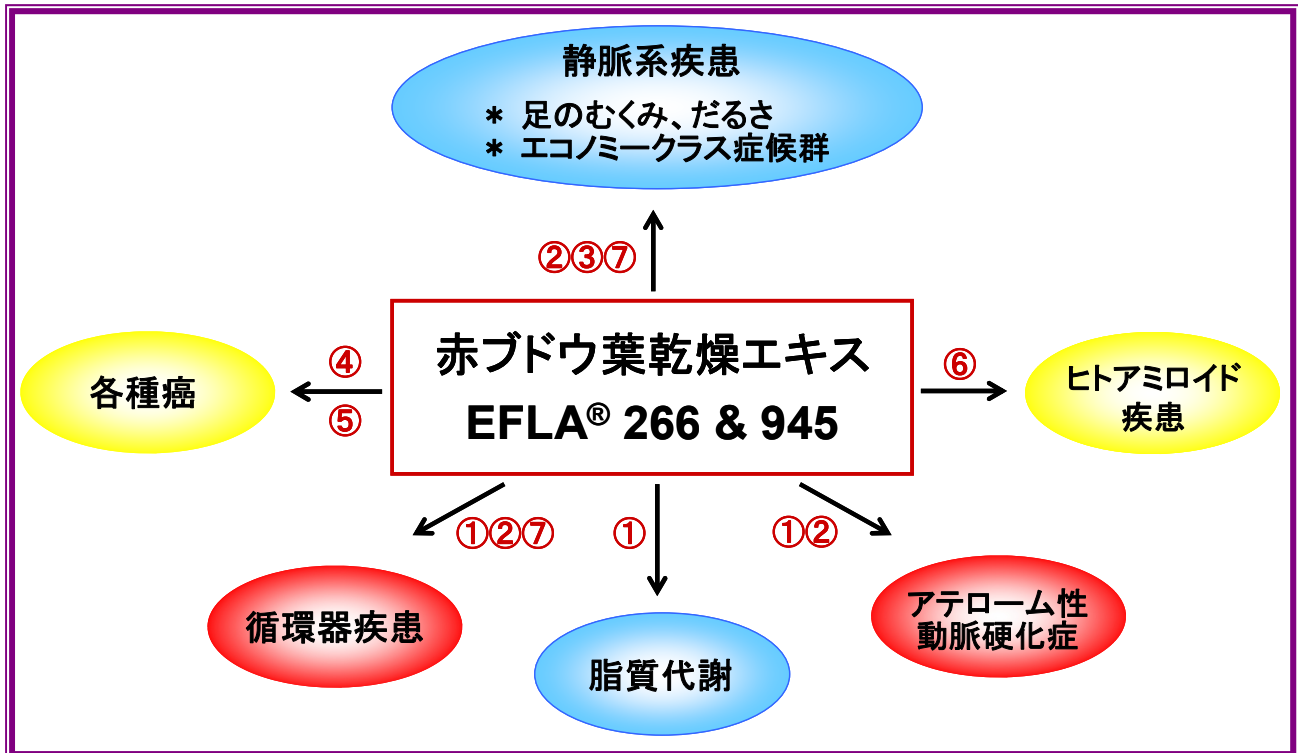
II. 赤ブドウ葉乾燥エキスは、赤ブドウ葉の多様な成分スペクトルを再現



☆TLC

1. Ref: エピガロカテキン
エピガテキン
2. 赤ブドウ葉
3. 赤ブドウ葉乾燥エキス
4. Ref: リスベラトロール

III. 赤ブドウ葉乾燥エキスの利用



生命の質・生活の質・健康の質 (QOL) の改善と向上

薬理作用と裏付け

- ① 抗酸化作用 : ポリフェノール類(アントシアニン類、カテキン類、リスベラトロール等)
- ② 血小板凝集抑制作用 : トランスリスベラトロール、ケルセチン
- ③ 抗炎症作用 : トランスリスベラトロール
- ④ 抗腫瘍作用 : トランスリスベラトロール
- ⑤ 植物エストロゲン作用 : トランスリスベラトロール
- ⑥ トランスサイレチン(TTR)変性防止作用 : トランスリスベラトロール
- ⑦ 静脈支持物質(コラーゲン・エラスチン・ヒアルロン酸等)の分解抑制作用

参考文献: ESCOP モノグラフ第2版追補 2009 / 仏薬局方第X版 / 仏植物治療薬指針 /

Community herbal monograph(EMEA) / Fitoteraria 1995 Vol. LXVI (4) : 291-317. 'Vitis Vinifera L.' /

Clin Chim Acta. 1995 Mar 31; 235(2): 207-219. / Drug Res 2000 Feb; 50(2): 109-117.

● 総発売元:

アスク薬品株式会社

〒272-0138 千葉県市川市南行徳 3-15-6

TEL : 047-399-7598 FAX : 047-395-1831

URL: <http://www.askic.co.jp> E-mail: info@askic.co.jp

ISO9001: 2008



2004年4月6日取得

● 製造元:

EFLA®

FRUTAROM SWITZERLAND LTD.

Rütüwisstrasse 7 8820 Wädenswil Switzerland